

『歌川広重展 - 中山道広重美術館五年間の歩み - 』



歌川広重

「東海道五拾三次之内 日本橋」

大判錦絵揃物の内

天保4年(1833)ころ

当館蔵(平成17年度新収蔵)

中山道広重美術館は、本年開館5周年を迎えます。当館ではこれを記念して、春と秋に特別企画展覧会を開催します。第一弾となる春の特別展が、4月13日(木)から開催される「歌川広重展 - 中山道広重美術館五年間の歩み - 」。当館がこれまでに収集してきた作品のほぼすべてを一堂に会して、ご覧いただこうと思っています。

例えば「東海道五拾三次之内 日本橋」(図参照)。この作品タイトルは知らなくとも、どこかで必ず目にしたことがある絵なのではないでしょうか。あるいはゴッホが愛し、これを模写したことで知られる「名所江戸百景 亀戸梅屋舗」。この絵も、きっとどこかでご覧になったことがあるはずです。

そんな有名な作品をも含め、全300点余り。中山道広重美術館ならではの、特色ある広重コレクションをお目にかけていると思っています。また併せて、平成13年度以来の展覧会ポスターやチラシなども展示し、収集と展示双方から中山道広重美術館5年間の歩みをご覧いただけます。

4月13日(木) ~ 7月23日(日)

毎週月曜日(祝日を除く) 祝日の翌日(土日祝日を除く) 休館

4月25日(火) ~ 5月7日(日)までは休まず開館

編集後記

第22回目を迎えた日本大正村クロスカントリーには、約2千人の皆さんが参加され、先の恵那峡ハーフマラソンと共にスポーツで交流ができました。過去の大会では、北は北海道から南は九州まで参加があり、また年齢層も幅広く、走ることが好きな人の幅広さを感じました。初期の大会では、走ることが好きな皆さんの大会でしたが、最近では、ファミリージョギングといった気軽に参加できる部門も設けられ、さらには仮装賞といった走ること以外でも入賞が狙える賞もでき、街角で見物する人にも楽しい大会となっています。自分もランナーとして参加したことはありませんが、いつかは実際に走って、仮装賞あたりを狙いたいと思います。

次号は4月15日号

発行日は4月14日(金)です

広報えな No.33

2006年(平成18年)4月1日発行

発行 恵那市役所/編集 まちづくり推進課
岐阜県恵那市長島町正家1丁目1番地1

☎26-2111 / ☎25-6150

<http://www.city.ena.gifu.jp/>

✉info@city.ena.gifu.jp